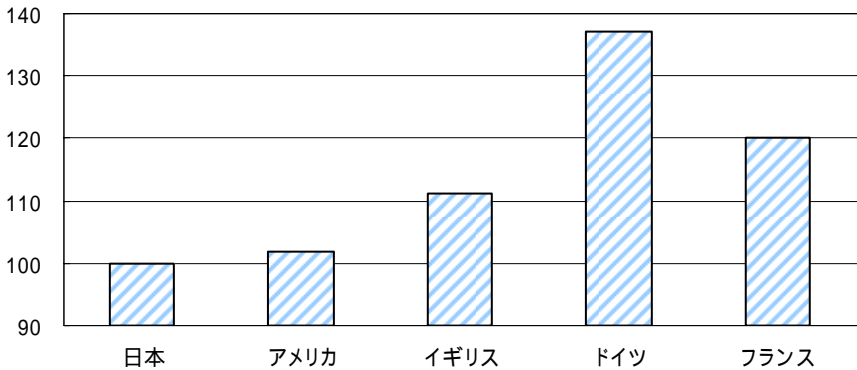


6 賃金・労働費用

6-2 製造業の労働費用（試算、為替レート換算、2004年）

(日本=100)



▶ グラフの具体的な数値および資料出所については、「第6-9表 製造業の労働費用(試算)」(p.175)を参照。

労働費用についても賃金の場合と同様、対象の産業や職種等に注意する必要がある。ここでは賃金と同様に、製造業の全労働者について実労働時間当たりの労働費用の比較を行った。我が国の労働費用は、1985年以降傾向的に高まり、2000年には5か国中最も高かったが、2004年をみるとアメリカとほぼ同水準となっている。

このように、我が国の労働費用が国際的にみて高い水準となってきた中で、引き続き我が国産業の発展と勤労者の生活の向上を図っていくためには、労働生産性の向上がこれまでも増して重要であると考えられる。